

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
62	下北半島大間崎周辺沿岸	青森県	下北郡大間町・佐井村	藻場	海藻	下北半島大間崎周辺沿岸	マコンブ、ホソメコンブ、ガゴメ、ワカメ、アオワカメなど8種類のコンブ目が生育し、また寒流系、暖流系の多様な海藻が豊富である。地先の生物多様性が高い。
63	下北半島沿岸北部	青森県	下北郡大畑町・東通町、むつ市	浅海域	ガン・カモ類	下北半島沿岸北部	コクガンの渡来地。
64	小川原湖湖沼群 <small>オプチ タカホコ イチャナギ タモギ オガワラ</small> (尾駁沼、鷹架沼、市柳沼、田面木沼、高瀬川、小川原湖など)	青森県	上北郡上北町・六ヶ所村、三沢市	湖沼、潟湖、河口干潟のある河口域	湿原植生	小川原湖湖沼群(尾駁沼、鷹架沼、市柳沼、田面木沼、高瀬川、小川原湖など)	ハンノキ林、水生植物群落など。53種を超える水生植物が確認されている。
					水草	下北半島湖沼群	尾駁沼～小川原湖にかけての湖沼群。種の多様性に富んだ水生植物群落が成立し、一部を除き自然度は高い。
					淡水藻類	市柳沼	絶滅危惧 類のシャジクモが生育。
					ガン・カモ類	小川原湖湖沼群(小川原湖および周辺水田、尾駁沼)	オオハクチョウ、コハクチョウの渡来地。鷹架沼、市柳沼、田面木沼ではカンムリカイツブリの繁殖が見られる。
					昆虫類	小川原湖湖沼群(尾駁沼、鷹架沼、市柳沼、田面木沼、高瀬川、小川原湖など)	モートンイトトンボ、オオキトンボ、パバアメンボ、アシマダラウンカ、ハコネマルツノゼミ等の生息地。下北半島南部に並ぶ湖沼群のうち六ヶ所村内に含まれる北から尾駁沼、鷹架沼、市柳沼、田面木沼の各湖沼。北部の2湖は太平洋に連絡した汽水湖で、遠浅の湖岸には湿原植物群落が広がる。固有の昆虫こそ知られていないが、冷涼な気候下、汽水性の湿原とそれに続く草原が残された特殊な環境となっており、十分な調査研究は進んでいないものの、本州や青森県ではここでしか生息が確認されていない種など多数の貴重な昆虫が分布している。
淡水貝類	下北半島の湖沼群	種の多様性が高く、ヒダリマキモノアラガイ(絶滅危惧 類)の生息地。カワシンジュガイ(絶滅危惧 類)、ヌマコダキガイも生息。					
底生動物	小川原湖湖沼群(尾駁沼、鷹架沼、市柳沼、田面木沼、高瀬川、小川原湖など)	ヤマトシジミ、カワザンショウや希少種タカホコシラトリの生息地。					
65	ホトケ仏沼	青森県	三沢市	干拓地	その他鳥類	仏沼	オオセッカの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
66	陸奥湾(大湊湾、原別海岸、小湊浅所海岸、青森湾東岸)	青森県	むつ市、青森市、上北郡野辺地町、東津軽郡平内町ほか	干潟、浅海域、藻場	海草	野辺地湾	スゲアマモの生育地。
					海草	青森湾東岸	アマモ、コアマモ、タチアマモ、スゲアマモの生育地。
					ガン・カモ類	陸奥湾(大湊湾、原別海岸、小湊浅所海岸)	オオハクチョウの渡来地。
					底生動物	小湊浅所	陸奥湾で最大の干潟。アナジャコ、キサゴ、アサリ、ヤマトオサガニなどの生息地。
67	宇曽利山湖	青森県	むつ市、下北郡大畑町	湖沼	昆虫類	宇曽利山湖	黒化のシオカラトンボ。湖岸の湿地や砂礫地には、ルリイトトンボ、ヒメミズギワカメムシ、エサキナガレカタピロアメンボ、ミヤマハンミョウ、オソレヤマミズギワゴミムシ、シマチビゲンゴロウ、チビミズギワコメツキなどが生息する。また、湖から流下する正津川にはナベブタムシを産する。
68	猿ヶ森砂丘と後背湿地	青森県	下北郡東通村	中間湿原、低層湿原	湿原植生	猿ヶ森砂丘と後背湿地	ハマニンニク - コウボウムギ群落、ケカモノハシ群落など。
					昆虫類	猿ヶ森砂丘と後背湿地	尻屋崎近くの尻労(しっかり)から小田野沢までの間、約7.5kmに及び長大な砂丘地で、砂丘の後背に池沼群が連なる。コウベツゲンゴロウ、オオヒメゲンゴロウ、マルガタゲンゴロウ、ゲンゴロウ、エゾゲンゴロウモドキ、エゾコガムシなどの水生甲虫が記録され、砂丘上ではオオマキバサシガメ、カワラハンミョウ、ヤマトヌスミベッコウ、ニッポンハナダカバチ、ヤスマツムカシハナバチが確認されている。
69	十三湖・岩木川(河口域)	青森県	北津軽郡中里町・市浦村、西津軽郡車力村	潟湖、河川、湖沼	湿原植生	十三湖・岩木川(河口域)	エゾシロネ - ヨシ群落、シオクグ群落など。
					その他鳥類	岩木川河口 - 十三湖	オオセッカの生息地。
					昆虫類	岩木川下流域の湿地群および十三湖	岩木川最下流部は河畔が広大なヨシを主体とする湿原となっている。十三湖周辺に甲虫類。ウチワヤンマ、アオヤンマなど多数のトンボ類、オオシマゲンゴロウ、マルガタゲンゴロウ、クロゲンゴロウ、ゲンゴロウモドキ、エゾガムシ、ホソガムシ他の水生甲虫類をはじめとした水生昆虫が豊富で、周辺にはキタアカシジミが生息する。
					底生動物	十三湖・岩木川(河口域)	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
70	屏風山湿原池沼群（平滝沼・ベンセ沼湿原、コケヤチ湿原など）	青森県	西津軽郡木造町・車力村	湖沼、中間湿原	湿原植生	屏風山湿原池沼群（平滝沼・ベンセ沼湿原、コケヤチ湿原など）	ツルコケモモ - ミズゴケ群落、ニッコウキスゲ - ノハナショウブ群落など。
					水草	屏風山湿原の池沼群	貴重な水生植物ならびに湿地植生が発達。
					昆虫類	屏風山湿原池沼群（平滝沼、ベンセ沼湿原、屏風山湿原）	カラカネイトトンボ、オオセスジイトトンボ、アオヤンマ、マダラヤンマ、オオトラフトンボ、ハッチョウトンボ、オオキトンボなど多数のトンボ類。オオヒメゲンゴロウ、オオシマゲンゴロウ、ゲンゴロウモドキなどの水生甲虫類が多く生息している。
71	津軽平野湖沼群（廻堰溜池、狄ガ館溜池、砂沢溜池）	青森県	北津軽郡鶴田町、弘前市、西津軽郡車力村	ため池	ガン・カモ類	津軽平野湖沼群（廻堰溜池、狄ガ館溜池、砂沢溜池、平滝沼）	コハクチョウ、ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）、マガン、オナガガモの渡来地。
72	八甲田山湿原群（田代平湿原、睡蓮沼周辺、八甲田山高層湿原・雪田草原、黄瀬沼周辺、鳶沼周辺）	青森県	青森市、上北郡十和田湖町、南津軽郡平賀町	高層湿原、雪田草原、湖沼	湿原植生	八甲田山湿原群（田代平湿原、睡蓮沼周辺、八甲田山高層湿原・雪田草原、黄瀬沼周辺、鳶沼周辺）	ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ショウジョウスゲ群落、ヌマガヤ群落、ミヤマホタルイ群落、エゾノヒツジグサ群落など。
					淡水藻類	鳶沼	絶滅危惧 類のヒメフラスコモ、カタシャジクモが生育。
					昆虫類	八甲田山湿原群（田代平湿原、睡蓮沼周辺、八甲田山高層湿原・雪田湿原、黄瀬沼、鳶沼周辺）	鳶温泉の周囲には少し離れた赤沼を含め大小の沼が点在し、鳶七沼と呼ばれる。周辺の森林からも興味深い昆虫が多数確認され、青森県にあっては昆虫の宝庫として知られている。キタヒメアメンボ、キイロマツモムシの生息地。八甲田山系は南北2群の火山よりなり、その中間に睡蓮沼を含む湿原地帯がある。カオジロトンボ、イシカリミドリカワゲラ、キイロマツモムシ、ヘリグロミズカメムシ、ババアメンボ、チャイロシマチビゲンゴロウ、サワダマメゲンゴロウ、メススジゲンゴロウ、ゲンゴロウ、ミヤマミズスマシ、ゴマフトビケラ、ヤチアミメトビケラなどの水生昆虫が生息する。
73	十和田湖	青森県、秋田県	青森県上北郡十和田湖町、秋田県鹿角郡小坂町	湖沼	淡水藻類	十和田湖	絶滅危惧 類のヒメフラスコモ、カタシャジクモが生育。
74	アッカ安家川	岩手県	下閉伊郡岩泉町、九戸郡野田村	河川	淡水貝類	安家川	カワシンジュガイ（絶滅危惧 類）の多産地。アッカミジンツボの模式および唯一の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
75	八幡平周辺湿原群（赤川源流域湿原、八幡平湿原、八幡沼、黒谷地、夜沼、蒸ノ湯大谷地、長沼、大沼、大場谷地、熊谷地、前谷地など）	岩手県、秋田県	岩手県岩手郡松尾村、二戸郡安代町、秋田県鹿角市、仙北郡田沢湖町	高層湿原、雪田草原、湖沼	湿原植生	八幡平周辺湿原群（赤川源流域湿原、八幡平湿原、八幡沼、黒谷地、夜沼、蒸ノ湯大谷地、長沼、大沼、大場谷地、熊谷地、前谷地など）	ショウジョウスゲ群落、ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、シモフリゴケ群落、ヤチスゲ群落、エゾホソイ群落、ミヤマホタルイ群落。
					水草	八幡平湖沼群	夜沼は日本唯一のハリナズナの群生地。他の湖沼にも貧栄養水域性の水生植物が生育する可能性があり、要注目。
					昆虫類	八幡平周辺湿原群（八幡沼、ガマ沼、蓬萊沼、黒谷地、御在所湿原など）	チシマミズムシ、モイワサナエ、ルリボシヤンマ、オオルリボシヤンマ、タカネトンボ、カラカネトンボ、エゾトンボ、ハッチョウトンボ、ムツアカネ、カオジロトンボなどの生息地。八幡沼、ガマ沼、蓬萊沼、黒谷地、御在所湿原などの調査により、高標高の池沼にはチシマミズムシ、北方系のGlaenocoris属の特異なミズムシ、アサヒナコミズムシ、キロマツモムシが多数みられる。
76	南八幡平山稜湿原群（大深岳北面雪田、上倉山周辺湿原、丸森周辺湿原、三ツ石湿原、三ツ沼、栗木ヶ原、〔岩手〕大白森湿原、八瀬森、〔秋田〕大白森湿原、小白森湿原、乳頭山、田代平湿原、千沼ヶ原、笹森山雪田、熊見平、湯森山、秋田駒ヶ岳など）	岩手県、秋田県	岩手県岩手郡雫石町・松尾村、秋田県仙北郡田沢湖町	高層湿原、雪田草原	湿原植生	南八幡平山稜湿原群（大深岳北面雪田、上倉山周辺湿原、丸森周辺湿原、三ツ石湿原、三ツ沼、栗木ヶ原、〔岩手〕大白森湿原、八瀬森、〔秋田〕大白森湿原、小白森湿原、乳頭山、田代平湿原、千沼ヶ原、笹森山雪田、熊見平、湯森山、秋田駒ヶ岳など）	イワイチョウ - ヌマガヤ群落、ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ヌマガヤ群落、ミヤマホタルイ群落、ミツガシワ群落、ダケスゲ群落、ヒメミズナラ群落、ミヤマヒナホシクサ群落、シロバナミヤマホシクサ群落など。
77	春子谷地湿原	岩手県	岩手郡滝沢村	中間湿原、低層湿原	湿原植生	春子谷地湿原	エゾノヒツジグサ - ミツガシワ群落、ヨシ - ショウジョウスゲ群落、ハンノキ群落など。
78	焼石岳北面雪田	岩手県	胆沢郡胆沢町、和賀郡湯田町	雪田草原	湿原植生	焼石岳北面雪田	ショウジョウスゲ群落など。
79	栗駒山湿原群（栗駒山雪田、世界谷地、ゴザコバシリ、須川湖周辺、竜泉ヶ原、田代沼など）	岩手県、宮城県、秋田県	岩手県一関市、宮城県栗原郡栗駒町・花山村、秋田県雄勝郡東成瀬村・皆瀬村	雪田草原、高層湿原	湿原植生	栗駒山湿原群（栗駒山雪田、世界谷地、ゴザコバシリ、須川湖周辺、竜泉ヶ原、田代沼など）	ヌマガヤ、アオノツガザクラ、フキユキノシタ、イワノガリヤス、ヤチツツジなどが生育する雪田草原。ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ヌマガヤ - オオミズゴケ群落などの高層湿原植生。オゼコウホネ。
					昆虫類	栗駒山周辺湿原群（栗駒山雪田、世界谷地、ゴザコバシリなど）	トウホクナガケシゲンゴロウ、エゾナガゴミムシ、スゲハムシなど北方系甲虫の生息地。桑沼にメススジゲンゴロウが生息していたが、マスの養殖により絶滅が危惧されており、要注目。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
80	陸中リアス海岸の湾奥沿岸湿地群（宮古湾、山田湾、船越湾、大槌湾、釜石湾など）	岩手県	宮古市、下閉伊郡山田町、上閉伊郡大槌町、釜石市など	干潟、藻場	海草	山田湾	生物多様性の高い藻場（わずかだがアマモ、スガモ、中央部にスゲアマモの高密度な純群落）。
					海草	船越湾	アマモ、タチアマモの生育地。
					海草	大槌湾	アマモ、スゲアマモ、タチアマモ、スガモの生育地。
					底生動物	陸中リアス海岸の湾奥干潟群（宮古湾、山田湾、大槌湾、釜石湾など）	様々な浅海性ベントスの生息地。
81	三陸沿岸の外洋性藻場	岩手県	下閉伊郡山田町、上閉伊郡大槌町、釜石市	藻場	海藻	三陸海岸	コンブ場などと混在し、地先の生物多様性が高い、ワカメ生育地。エゾノネジモクの大群落。
82	広田湾	岩手県、宮城県	岩手県陸前高田市、宮城県本吉郡唐桑町	藻場	海草	広田湾	アマモ、タチアマモ群落。
83	南三陸海岸沿岸（御伊勢浜ほか）	宮城県	宮城県本吉郡本吉町、気仙沼市ほか	浅海域	ガン・カモ類	南三陸海岸（御伊勢浜ほか）	コクガンの渡来地。
84	志津川湾	宮城県	本吉郡志津川町	藻場	海草	志津川湾	アマモの4種（アマモ、タチアマモ、スゲアマモ、スガモ）が生育する。アマモ場のほか、コンブ場、アラメ場、ガラモ場という4つのタイプの藻場が良く発達する。コンブとアラメが混生する大変貴重な場所。
85	万石浦	宮城県	石巻市	浅海域、藻場	海草、海藻	万石浦	アマモの生育地。湾奥部にアサクサノリ（絶滅危惧種）が生育。
					底生動物	万石浦	カキ、アサリ、オキシジミ（北限）、ウミニナの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
86	仙台湾および仙台海浜（松島湾、蒲生干潟、井戸浦潟、広浦、鳥の海など）	宮城県	石巻市、仙台市、亶理郡亶理町、宮城郡松島町、塩釜市ほか	潟湖干潟のある汽水湖沼、干潟、浅海域、藻場	海藻	仙台湾	コンブ、アラメ場などと混在し、地先の生物多様性が高い、ワカメ生育地。
					湿原植生	仙台海浜潟湖群（松島湾、蒲生干潟、井戸浦潟、広浦、鳥の海など）	ハマニンニク - コウボウムギ群落、ハマツナ群落、シオクグ群落、ヨシ群落、シバナ群落など。鳥の海のヨシ群落にアサクサノリ(絶滅危惧種)が生育。
					海草	松島湾	内湾性の強いアマモ場。
					底生動物	松島湾内の干潟群	アサリ、カキなどの生息地。
					ガン・カモ類	蒲生海岸	コクガンの渡来地。
					底生動物	蒲生干潟	ゴカイ、イソシジミ、アシハラガニなどの生息地。フトヘナタリ(北限)、カワザンショウ類(ムシヤドリカワザンショウ)など塩性湿地性の底生生物も豊富。
					底生動物	井戸浦潟・名取川河口域	多毛類、カニ類の生息地。
					底生動物	広浦	まとまった干潟とヨシ原があり、ベントスの生息条件を備えている。ウミニナの生息地として重要。
					底生動物	鳥の海	ホソウミニナ、ウミニナ、イソシジミ、ゴカイ、アサリなどの生息地。
87	伊豆沼周辺湖沼群（伊豆沼、内沼、長沼など） ラムサール条約登録湿地(伊豆沼・内沼)	宮城県	登米郡若柳町・迫町、栗原郡築館町	湖沼	湿原植生	伊豆沼周辺湖沼群（伊豆沼、内沼、長沼など）	ヨシ群落、マコモ群落、ヌマアゼスゲ群落など。
					ガン・カモ類	伊豆沼周辺湖沼群（伊豆沼、内沼、長沼）	オオハクチョウ、ヒシクイ(亜種ヒシクイおよびオオヒシクイ)、マガン、シジウカラガンの渡来地。
					淡水魚類	伊豆沼	ゼニタナゴ、タナゴの生息地。近年激減しているため注意が必要。
					淡水貝類	伊豆沼	イシガイ類の生息地。
88	カブクリ 蕪栗沼	宮城県	遠田郡田尻町	湖沼	湿原植生	蕪栗沼	ヨシ群落、マコモ群落、タチヤナギ群落など、低湿地を代表する植生が残存。
					ガン・カモ類	蕪栗沼	ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガン、シジウカラガンの渡来地。
					淡水魚類	蕪栗沼	ゼニタナゴ、タナゴの生息地。
					淡水貝類	蕪栗沼	イシガイ類の生息地。
89	相野沼	宮城県	遠田郡涌谷町	湖沼	水草	相野沼	水草の種数、個体数ともに豊かな沼。フサタヌキモやヒシモドキモ記録がある。近年の変化は急激のため要注目。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
90	ケジヨ 化女沼	宮城県	古川市	湖沼	ガン・カモ類	化女沼	ヒシクイ(亜種ヒシクイ)、マガンの渡来地。
91	旧品井沼周辺ため池群	宮城県	志田郡鹿島台町	ため池	淡水魚類	旧品井沼周辺ため池群	シナイモツゴ、ギバチ、ゼニタナゴ、メダカの生息地。
92	北上川(河口域)・ ^{ナガツラ} 長面浦	宮城県	桃生郡北上町・雄勝町・河北町・桃生町、登米郡登米町	河口干潟、塩性湿地	湿原植生	北上川(河口域)・長面浦	北上川河口域に沿ったヨシ、マコモ、ガマなどの抽水植物群落とヤナギ低木林。長面浦に砂浜植物群落、アサクサノリ(絶滅危惧種)。
					昆虫類	北上川(追波湾)河口	北上川最下流域の汽水性の河畔湿地で、ヒヌマイトトンボの既知北限であり、カスミササキリ、未記載種と考えられるナガマキバサシガメ、オオナガマキバサシガメ、ジュウクホシテントウなどが確認されている。
					底生動物	北上川(河口域)・長面浦	ヤマトシジミ、アサリ、コメツキガニ、アシハラガニなどの生息地。長面浦にはアシハラガニ、アリアケモドキ、ホソウミニナが生息する。
93	田谷地沼・かば谷地・すげ沼湿地池沼群	宮城県	加美郡小野田町	湖沼、ため池	湿原植生	田谷地沼・かば谷地・すげ沼湿地池沼群	ハンノキ-ヤチダモ群落、ハンノキ群落、ヤチスゲ群落、ヨシ-ミゾソバ群落、オオイヌノハナヒゲ-ムラサキミズゴケ群落など。
					水草	田谷地湖沼群・荒沢湖沼群	大規模な地すべり地域の凹地に成立した湖沼・湿地に、多様な湿原植生が自然な状態で認められる。
					昆虫類	田谷地沼・すげ沼湿地池沼群	カラカネイトトンボ、オゼイトトンボ、エゾイトトンボ、サラサヤンマ、キトンボ、ハッチョウトンボなどの生息地。
94	蔵王山周辺湿原群(芝草平、イロ八沼湿原群、御田の神湿原、地蔵岳雪田、熊野岳雪田など)	宮城県、山形県	宮城県刈田郡七ヶ宿町・蔵王町、山形県山形市、上山市	高層湿原、雪田草原	湿原植生	蔵王山湿原群(芝草平、イロ八沼湿原群、御田の神湿原、地蔵岳雪田、熊野岳雪田など)	シヨウジョウスゲ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ-キダチミズゴケ群落、カワズスゲ-アオモリミズゴケ群落、ミヤマホタルイ群落など。
95	米代川河口湖沼群(小友沼、一ノ沢堤、能代大堤、落合沼、須田湿地など)	秋田県	能代市	低層湿原、湖沼	湿原植生	米代川河口湖沼群(小友沼、一ノ沢堤、能代大堤、落合沼、須田湿地など)	落合沼：沼沢地。マコモ群落、沈水植物群落など。タヌキモ、クロモ、ミズオオバコ、ヒメミクリ、マルバオモダカ、ヤナギスプタ、ミミカキグサ、ムラサキミミカキグサ、ホザキノミミカキグサなど。
					ガン・カモ類	八郎潟・小友沼湖沼群	オオハクチョウ、コハクチョウ、ヒシクイ(亜種ヒシクイおよびオオヒシクイ)、マガン、オナガガモの渡来地。
96	男鹿半島沿岸	秋田県	男鹿市	藻場	海藻	男鹿半島沿岸	日本海北部最大。ハタハタ主産卵場。ワカメ、テングサ、ウスイロモク、スギモクなど種の多様性が高い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
97	秋田平野湖沼群（八郎潟調整池・天王出戸湿原、男潟、女潟、国花苑堤、小立花堤、福田堤、赤平潟、宝竜崎ため池、古川）	秋田県	南秋田郡井川町・大潟村・天王町・五城目町・八郎潟町、山本郡山本町、秋田市	高層湿原、低層湿原、潟湖、湖沼	湿原植生	秋田平野湖沼群（八郎潟調整池・天王出戸湿原、男潟、女潟、国花苑堤、小立花堤、福田堤、赤平潟、宝竜崎ため池、古川）	[女潟]沼沢地。ウキヤガラ - マコモ群落、カサスゲ群落、ツルスゲ群落。 [天王出戸湿原]高層湿原。ヨシ群落、ヒメミクリなど。 [男潟]アサザ。 [国花苑堤、小立花堤、福田堤]イトトリゲモ、イトイバラモ、トリゲモ、スプタ、マルバオモダカ。 [赤平潟、宝竜崎ため池、古川]アサザ、ミズアオイ、沈水植物が生育。
					水草	秋田平野湖沼群（男潟、女潟、古川など）	アサザ、ミズアオイ、バイカモなど貴重な水生植物が生育。
					ガン・カモ類	八郎潟・小友沼湖沼群	オオハクチョウ、コハクチョウ、ヒシクイ（亜種ヒシクイおよびオオヒシクイ）、マガン、オナガガモの渡来地。
					底生動物	八郎潟調整池	淡水化が進んだとはいえ、汽水性ベントスが数多く生息している。
98	雄物川中流域湖沼群（高屋敷低層湿原、大浦沼、乙越沼、湯の台・小方角沢湿原）	秋田県	仙北郡西仙北町・神岡町	低層湿原、湖沼	湿原植生	雄物川中流域湖沼群（高屋敷低層湿原、大浦沼、乙越沼、湯の台・小方角沢湿原）	雄物川の氾濫原および段丘に散在する湖沼・湿原群。水田化などが進められた低湿地や丘陵域に残る。コウホネ、サギソウ、ミズドクサ、メビシなどが生育する。絶滅危惧種も多い。高屋敷低層湿原：河川、沼沢地。コウホネ群落、ミズドクサ群落。大浦沼：ヒシ - コウホネ群落、サンショウモ - ウキクサ群落など、アサザ、トチカガミ。乙越沼：メビシーオヒルムシロ群落など。湯の台・小方角沢湿原：イヌノハナヒゲ群落、コイヌノハナヒゲ - オオイヌノハナヒゲ群落など。
99	横手市～仙北郡にかけてのため池群	秋田県	仙北郡南外村・仙南村・神岡町・仙北町・太田町・中仙町・協和町	ため池	水草	横手市～仙北郡にかけてのため池群	貴重な水生植物が生育。
100	仙北・平鹿地方の湧水群	秋田県	仙北郡六郷町・中仙町・太田町・千畑町・田沢湖町、平鹿郡平鹿町	湧水地	水草	中仙町～太田町の湧水群	ミクリ類（ナガエミクリ、ヤマトミクリ、他）やスギナモ、ハイハマボスなどが生育する湧水が広範に残存。
					淡水魚類	仙北・平鹿地方の湧水群	イバラトミヨ雄物型の生息地。
101	田代岳湿地	秋田県	北秋田郡田代町	雪田草原	湿原植生	田代岳湿地	ヌマガヤ群落など。ムツノガリヤス、キンコウカなど。
102	和賀岳・朝日岳雪田	秋田県	仙北郡田沢湖町・角館町	雪田草原	湿原植生	和賀岳・朝日岳雪田	ヌマガヤ、ショウジョウスゲ、イワイチョウ、ヒナザクラ、コイワカガミ、ミツバオウレン、チングルマ、シロバナトウチソウ、シラネニンジン、ミツバノバイカオウレン、シナノキンバイ、タカネセンブリなどが生育する。
103	苔沼	秋田県	雄勝郡皆瀬村	高層湿原	湿原植生	苔沼	イボミズゴケ - ホロムイソウ群落など。
104	加田喜沼	秋田県	由利郡大内町	高層湿原	湿原植生	加田喜沼	標高30mの低地に残された浮島上の高層湿原。ミズゴケ群落が発達。ホロムイソウ（遺存分布）、ムラサキミミカキグサ、ミツガシワ、ウメバチソウなどが生育。
105	虎毛山湿地	秋田県	雄勝郡皆瀬村	高層湿原、雪田草原	湿原植生	虎毛山湿地	イワイチョウ - ヌマガヤ群落、ヌマガヤ、チングルマ、ミカツキグサ、ミヤマイヌノハナヒゲ、キンコウカ、モウセンゴケなどが生育する。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
106	鳥海山北麓湿地群（南由利原の湿地、冬師のハンノキ林、桑ノ木台湿原、仁賀保高原湖沼群（平石堤など））	秋田県	由利郡由利町・矢島町・仁賀保町	低層湿原、湖沼	湿原植生	鳥海山北麓湿地群（南由利原の湿地、冬師のハンノキ林、桑ノ木台湿原、仁賀保高原湖沼群（平石堤など））	[南由利原の湿地]ノハナショウブ群落、レンゲツツジ群落、タチギボウシ - サワギキョウ群落。[冬師]ハンノキ林、フトヒルムシロ。
107	鳥海山湿原群(竜ヶ原湿原、稲倉岳北面雪田、鳥海山雪田群、御浜扇子森雪田群、千畳ヶ原、荒神岳北面、心字雪田群、飯ヶ森湿原、河原宿湿原、大清水湿原など)	秋田県、山形県	秋田県由利郡象潟町・矢島町・鳥海町、山形県飽海郡遊佐町・八幡町	高層湿原、雪田草原	湿原植生	鳥海山湿原群(竜ヶ原湿原、稲倉岳北面雪田、鳥海山雪田群、御浜扇子森雪田群、千畳ヶ原、荒神岳北面、心字雪田群、飯ヶ森湿原、河原宿湿原、大清水湿原など)	ヒゲノガリヤス群落、ショウジョウスゲ - イワイチョウ群落など。
108	飛鳥周辺沿岸	山形県	酒田市	藻場	海藻	飛鳥周辺沿岸	山形県本土沿岸よりも暖流の影響が強く、県沿岸海藻では最も海藻の種類が豊富である。長さ6mを越えるツルモを産し、南方系の種類が多い一方で、北方性の普通種アカバも産する。
109	最上川河口	山形県	酒田市	河川	ガン・カモ類	最上川河口	ハクチョウ類の渡来地。
110	最上川および赤川水系のウケクチウグイ生息地	山形県		河川	淡水魚類	最上川および赤川水系のウケクチウグイ生息地	ウケクチウグイの生息地。
111	河島山麓堤群	山形県	村山市	ため池	水草	河島山麓堤群	多くの貴重水生植物。
112	乱川扇状地湧水地	山形県	東根市、天童市	湧水地	水草	乱川扇状地湧水地	乱川はじめ最上川支流の河口域と古最上遊水地。イトトリゲモ、ミクリ類など、種の多様性に富んだ一帯。
					淡水魚類	最上川中流域の湧水地	イバラトミヨ雄物型の生息地。
113	上池・下池	山形県	鶴岡市	湖沼	ガン・カモ類	上池・下池	マガモ、コハクチョウ、ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）の渡来地。
114	月山・湯殿山湿原群（月山山頂東側一帯、弥陀ヶ原湿原、念仏ヶ原、皮松谷地、田代沢湿原群など）	山形県	西村山郡西川町、東田川郡榊引村・立川町、東田川郡羽黒町	雪田草原、高層湿原、湖沼	湿原植生	月山・湯殿山湿原群（月山山頂東側一帯、弥陀ヶ原湿原、念仏ヶ原、皮松谷地、田代沢湿原群など）	ガッサンクロゴケ群落、カニツリノガリヤス群落、ショウジョウスゲ-イワイチョウ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落など。
					淡水貝類	月山の湖沼群	マメシジミ類の多産地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
115	朝日連峰湿原群	山形県	東田川郡朝日村、西村山郡西川町、長井市	雪田草原、高層湿原	湿原植生	朝日連峰湿原群	イワノガリヤス - アオノツガザクラ群落、イワイチョウ - ヌマガヤ群落、オクキタアザミ - トウゲブキ群落など。イワイチョウ - ヌマガヤ群落内では、ヌマガヤ、イワイチョウ、ハクサンオオバコ、イトキンスゲ、ショウジョウスゲ、ヒゲノガリヤス、チングルマ、ウサギギク、イワカガミなどの高山草本に、アオノツガザクラ、クロウスゴなどの木本が混生し、湿性のお花畑となる。また、鳥原山の湿地には、ホロムイソウ、ヤチスギラン、ホソバタマミクリ、イトカワモズクなどがみられる。
116	飯豊連峰湿原群	山形県、福島県、新潟県	山形県西置賜郡小国町・飯豊町、福島県耶麻郡山都町・西会津町、新潟県東蒲原郡鹿瀬町、新発田市	雪田草原	湿原植生	飯豊連峰湿原群	イワノガリヤス - アオノツガザクラ群落、イワイチョウ - ヌマガヤ群落、オクキタアザミ - トウゲブキ群落。稜線の東 - 南東側直下に形成された雪窟と呼ばれる独特の地形部位に、残雪が最も遅くまで残る中心部から順に、アオノツガザラ、ショウジョウスゲ、イワイチョウ、ハクサンオオバコ、コバイケイソウなどが優占する雪田植生が認められる。また、稜線の平坦地にはヌマガヤ、イワイチョウ、ショウジョウスゲが多く、分解の進んだ泥炭が存在する草原が発達する。
					昆虫類	飯豊連峰湿原群	ババオオヨコバイの生息地。
117	吾妻山周辺湿原群（西吾妻山、東大巔、弥兵衛平、中大巔、矢筈山馬場谷地、明月・明星湖湿原、谷地平、景場平等）	山形県、福島県	山形県米沢市、福島県福島市、耶麻郡猪苗代町・北塩原村	高層湿原、雪田草原	湿原植生	吾妻山湿原群（西吾妻山、東大巔、弥兵衛平、中大巔、矢筈山馬場谷地、明月・明星湖湿原、谷地平、景場平等）	ワタスゲ - イボミズゴケ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ショウジョウスゲ - イワイチョウ群落など。
118	松川浦	福島県	相馬市	潟湖	底生動物	松川浦	ホソウミニナ、イソシジミ、ゴカイ、アサリなどの生息地。
119	雄国沼湿原	福島県	耶麻郡北塩原村	高層湿原	湿原植生	雄国沼湿原	ヌマガヤ - チャミズゴケ群落、ヌマガヤ - イボミズゴケ群落など。
120	裏磐梯湖沼群（桧原湖、小野川湖、秋元湖、五色沼など）	福島県	耶麻郡北塩原村・猪苗代町	低層湿原、湖沼	湿原植生	裏磐梯湖沼群（桧原湖、小野川湖、秋元湖、五色沼など）	オヒルムシロ、ジュンサイなどの生育する多数の湖沼や低層湿原が散在する。
					淡水魚類	五色沼周辺沢沼地	シナイモツゴ、アカヒレタビラの生息地。
					昆虫類	五色沼周辺沼沢地	アマゴイルリトンボ、アオヤンマ、ルリボシヤンマ、エゾトンボ、ハッチョウトンボの生息地。
121	猪苗代湖と流入河川	福島県	会津若松市、郡山市、耶麻郡猪苗代町	河川、湖沼	淡水貝類	猪苗代湖とその流入河川	絶滅危惧 類のカワシンジュガイ（流入河川）、ヨコハマシジラガイ（猪苗代湖）。種の多様性が高い。
122	赤井谷地湿原	福島県	会津若松市	低層湿原、高層湿原	湿原植生	赤井谷地湿原	ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ヌマガヤ - ムラサキミズゴケ群落、ヨシ - シタミズゴケ群落など。
					昆虫類	猪苗代湖畔赤井谷地	ゲンゴロウ、オオコオイムシの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
123	矢の原湿原	福島県	大沼郡昭和村	高層湿原	湿原植生	矢の原湿原	泥炭層が厚い。
124	コマド・ミヤコ 駒止・宮床湿原	福島県	大沼郡昭和村、南 会津郡田島町・南 郷村	中間湿原、 高層湿原	湿原植生	駒止・宮床湿原	駒止湿原は、国指定天然記念物。ヌマガヤ - チャミズゴケ群落、ホロムイスゲ - ヌマガヤ群落など。
125	田代山湿原	福島県	南会津郡舘岩村	高層湿原	湿原植生	田代山湿原	ヌマガヤ - チャミズゴケ群落など。
126	小名浜、塩屋崎周辺沿岸	福島県	いわき市	藻場	海藻	小名浜、塩屋崎周辺沿 岸	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。
127	尾瀬ヶ原・尾瀬沼	福島県、群 馬県、新潟 県	福島県南会津郡檜 枝岐村、群馬県利 根郡片品村、新潟 県北魚沼郡湯之谷 村	高層湿原、湖 沼	湿原植生	尾瀬ヶ原・尾瀬沼	ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ヤチカワズスゲ - キダチミズゴケ群落、リュウ キンカ - ミズバショウ群落、ホソバタマミクリ - オゼコウホネ群落、スギナモ 群落など。
					淡水藻類	尾瀬沼	絶滅危惧 類のカタシャジクモが生育。
					昆虫類	尾瀬周辺湿原群・尾瀬 沼	トンボ類・甲虫類の多様性が高い。カラカネイトトンボ、オゼイトトンボ、ル リイトトンボ、モイワサナエ、ルリボシヤンマ、オオトラフトンボ、エゾトン ボ、ホソモリトンボ、カラカネトンボ、ハッチョウトンボ、ムツアカネ、カ オジロトンボなどの生息地。
					淡水貝類	尾瀬沼	マメシジミ類の多産地。
128	会津駒ヶ岳周辺湿原群	福島県	南会津郡檜枝岐村	高層湿原、雪 田草原	湿原植生	会津駒ヶ岳周辺湿原群	ハクサンコザクラ - ショウジョウスゲ群落、ヤチカワズスゲ - キダチミズゴケ 群落など。
129	ヒヌマ 涸沼	茨城県	東茨城郡茨城町・ 大洗町、鹿島郡旭村	複合型の湿 地、潟湖	湿原植生	涸沼	ヨシ、ガマ、マコモ、フトイ、サンカクイ、ヒシ、クロモ、マツモ、セキショ ウモ、コケモドキ・アヤギヌ群落。
					ガン・カモ類	霞ヶ浦・涸沼湖沼群 (霞ヶ浦・北浦・涸 沼・菅生沼)	霞ヶ浦を含むこれらの湖沼群は、関東地方におけるガンカモ類の越冬地の中心 的存在となる。とりわけガン類にとっては、霞ヶ浦に隣接する水田地帯や旧 河川および、霞ヶ浦自体が、関東地方で唯一の定期的なガン類（オオヒシク イ）の越冬地となっている。また涸沼、北浦、菅生沼もガン類の生息を可能と する環境が保持され、不定期にガン類が渡来する。菅生沼では2000/01越冬期も 100羽前後のマガンの渡来が確認されている。霞ヶ浦：ヒシクイ(亜種オオヒシク イ)、マガモ、コガモ。北浦：オオホシハジロ。涸沼：希少種（ヒメハジロ） が見られることがある。菅生沼：コハクチョウ。
					淡水魚類	涸沼	陸封型ニシンの南限。生息数が激減。
					昆虫類	涸沼	ヒヌマイトトンボの模式産地。（アシ、マコモやイグサが生育し、しかも塩水 が混じる汽水域にだけ生息しており、日本の他の生息地も同様である。ここを 離れると大形のトンボに捕食されてしまう。）

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
130	霞ヶ浦・北浦水系の河川・湖沼群（霞ヶ浦・北浦・浮島湿原を含む）	茨城県	東茨城郡小川町、行方郡玉造町、新里郡玉里町、稲敷郡桜川村	複合型の湿地、河川、湖沼	湿原植生	霞ヶ浦・北浦湖沼群（霞ヶ浦・北浦・浮島湿原を含む）	マコモ - ヨシ群落、ミクリ群落など。浮島湿原：カモノハシ - ヨシ群落。
					ガン・カモ類	霞ヶ浦・涸沼湖沼群（霞ヶ浦・北浦・涸沼・菅生沼）	霞ヶ浦を含むこれらの湖沼群は、関東地方におけるガンカモ類の越冬地の中心的な存在となる。とりわけガン類にとっては、霞ヶ浦に隣接する水田地帯や旧河川および、霞ヶ浦自体が、関東地方で唯一の定期的なガン類（オオヒシクイ）の越冬地となっている。また涸沼、北浦、菅生沼もガン類の生息を可能とする環境が保持され、不定期にガン類が渡来する。菅生沼では2000/01越冬期も100羽前後のマガンの渡来が確認されている。霞ヶ浦：ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガモ、コガモ。北浦：オオホシハジロ。涸沼：希少種（ヒメハジロ）が見られることがある。菅生沼：コハクチョウ。
					淡水魚類	霞ヶ浦・北浦水系の河川・湖沼	小型コイ科魚類の生息地（在来タナゴ類など）。
					淡水貝類	霞ヶ浦	種の多様性が高い。
131	利根川下流部	茨城県、千葉県	茨城県鹿島郡神栖町・波崎町、千葉県香取郡小見川町、東庄町	河川敷	シギ・チドリ類	利根川下流部	波崎の砂浜、神栖・矢田部西前宿などの河川敷。チュウシャクシギ、ツルシギ、ミユビシギ、キョウジョシギ、ミヤコドリでは最小の推定個体数の1%以上、メダイチドリ、ハマシギ、キアシシギ、ムナグロでは0.25%以上が記録されている。
					その他鳥類	小見川・東庄	オオセッカの生息地。
132	スガオ 菅生沼	茨城県	岩井市、水海道市	湖沼	湿原植生	菅生沼	ヨシ群落、マコモ群落、カサスゲ群落、アカメヤナギ林。オニナルコスゲなど。
					ガン・カモ類	霞ヶ浦・涸沼湖沼群（霞ヶ浦・北浦・涸沼・菅生沼）	霞ヶ浦を含むこれらの湖沼群は、関東地方におけるガンカモ類の越冬地の中心的な存在となる。とりわけガン類にとっては、霞ヶ浦に隣接する水田地帯や旧河川および、霞ヶ浦自体が、関東地方で唯一の定期的なガン類（オオヒシクイ）の越冬地となっている。また涸沼、北浦、菅生沼もガン類の生息を可能とする環境が保持され、不定期にガン類が渡来する。菅生沼では2000/01越冬期も100羽前後のマガンの渡来が確認されている。霞ヶ浦：ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガモ、コガモ。北浦：オオホシハジロ。涸沼：希少種（ヒメハジロ）が見られることがある。菅生沼：コハクチョウ。
133	北茨城市地先海岸	茨城県	北茨城市	藻場	海藻	北茨城市地先沿岸	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。
134	伊師浜、小貝浜、高磯	茨城県	多賀郡十王町、日立市	藻場	海草	伊師浜	エビアマモの生育地。
						小貝浜、高磯	エビアマモの生育地。
135	那珂湊地先沿岸(大洗、平磯、阿字ヶ浦)	茨城県	ひたちなか市、東茨城郡大洗町	藻場	海草、海藻	那珂湊地先沿岸（阿字ヶ浦、平磯、大洗）	(大洗・平磯)エビアマモの生育地。(大洗・阿字ヶ浦)コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
136	渡良瀬遊水地	栃木県、群馬県、埼玉県	栃木県小山市、下都賀郡藤岡町・野木町、群馬県板倉町、埼玉県北川辺町	低層湿原、遊水地	湿原植生	渡良瀬遊水地	ヨシ群落、オギ群落、ウキヤガラ - マコモ群落、アカメヤナギ林など。
					昆虫類	渡良瀬遊水地	アオモンイトトンボ、ムスジイトトンボ、オオモノサシトンボ、サラサヤンマ、チョウトンボ、アカガネオサムシ、ワタラセハンショウモドキ、ババアメンボ等の生息地。ホンシュウオオイチモンジシマゲンゴロウ、セスジガムシ、オビヒメコメツキモドキ、ワタラセミズギワアリモドキなど独特な種やRDBに出ているような湿地特有の種が多く知られている。
137	那須山麓湿地群（高久甲、高久丙、小深堀、寺子丙、戸能など）	栃木県	那須郡那須町	湿地を含む半自然草原	昆虫類	那須山麓湿地群（高久甲、高久丙、小深堀、寺子丙、戸能など）	（高久甲）ゲンゴロウ、マルガタゲンゴロウ、ヒラタネクイハムシ、スゲハムシなどの生息地。（高久丙）ハッチョウトンボ、チャマダラセセリ、ヒメハバビロドロムシなどの生息地。シマゲンゴロウ、アサカミキリ、スゲハムシ、ガガブタネクイハムシ、ツヤネクイハムシ、オオルリハムシ、ヒウラアシナガハムシ等の甲虫類が生息する。周辺の草原には希少なブチヒゲツノヘリカメムシ（絶滅危惧I類）、ナカノテングスケバなども生息する。
138	大田原市の湧水湿地	栃木県	大田原市	湧水地、水路	淡水魚類	大田原市の湧水湿地	ミヤコタナゴ、陸封性イトヨの生息地。
139	鬼怒川河川敷（上沢前湿地）	栃木県	塩谷郡塩谷町	砂利採取跡の人工的湿地	昆虫類	鬼怒川河川敷（上沢前湿地）	ハッチョウトンボ、フトネクイハムシ、ババスケヒメゾウムシの生息地。種の多様性が高い。
140	鬼怒沼湿原	栃木県	塩谷郡栗山村	中間湿原、高層湿原	湿原植生	鬼怒沼湿原	ヌマガヤ - チャミズゴケ群落、ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ホロムイスゲ - ヌマガヤ群落。
141	上河戸・河戸新田のため池群	栃木県	塩谷郡喜連川町	ため池	昆虫類	上河戸・河戸新田のため池群	アカガネネクイハムシの生息地。フトイ群落がみられ、アカガネネクイハムシの模式産地（タイプ産地）として知られる。その他の注目すべき種は、キンイロネクイハムシ、ヒラタネクイハムシ、ツヤネクイハムシ、スゲハムシ、オオルリハムシ、ジュウシホシツツハムシ、オゼイトトンボ、ハッチョウトンボなどがある。
142	中禅寺湖	栃木県	日光市	湖沼	淡水藻類	中禅寺湖	絶滅危惧 類のヒメフラスコモ、カタシャジクモ、シャジクモが生育。
143	湯の湖・戦場ヶ原・小田代ヶ原湿原	栃木県	日光市	高層湿原、湖沼	湿原植生	湯の湖・戦場ヶ原・小田代ヶ原湿原	ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、オオアゼスゲ群落。
					淡水藻類	湯ノ湖	絶滅危惧 類のオオフラスコモ、カタシャジクモが生育。
144	弁天沼湿原	栃木県	今市市	湧水湿地	昆虫類	弁天沼	カラカネイトトンボ、ハッチョウトンボ、エサキアメンボ、コバンムシ、タガメ、キンイロネクイハムシなどの生息地。
145	長岡湿地	栃木県	宇都宮市	ハンノキ林湿地	昆虫類	長岡湿地	タガメ、ゲンジボタル、キンイロネクイハムシ、ハネビロエゾトンボの生息地。他に、クロマメゲンゴロウ、ヒゲブトハナムグリ、アカマダラコガネ、スジグロボタル、サラサヤンマ、ミルンヤンマ、ミドリシジミ、ウラゴマダラシジミなどが確認されている。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
146	コマニユウ 駒生湿地	栃木県	宇都宮市	湧水地	昆虫類	駒生湿地	湿地性・草原性種が豊富。このような湿地が宇都宮市内の市街地に温存されていることはきわめて貴重である。おもな注目すべき種としては、ハガクビナガゴミムシ、コウベツブゲンゴロウ、オオタクスイモドキ、ババヒメテントウ、ジョウザンホシテントウ、スゲハムシ、タテスジキツツハムシ、ジュウシホシツツハムシ、クロコトビハムシ、トラノオトビハムシ、クサレダマチビトビハムシ、タグチホソヒラタハムシ、シャープマメゾウムシ、オオケブカチョッキリ、ナカノテングスケバ、ハッチョウトンボ（安定した湧水環境に多産）、カヤキリなどが挙げられる。
147	草津周辺湿原群（芳ヶ平、富貴原ノ池、弓池など）	群馬県	吾妻郡草津町、吾妻郡六合村	高層湿原	湿原植生	草津周辺湿原群（芳ヶ平、富貴原ノ池、弓池など）	小池塘のヤチスゲ群落、エゾホソイ群落。
148	利根川源流山稜高層湿原群（平ヶ岳～巻機山～朝日岳）	群馬県、新潟県	群馬県利根郡水上町、新潟県南魚沼郡湯沢町・塩沢町・六日町、北魚沼郡湯之谷村	高層湿原、雪田草原	湿原植生	利根川源流山稜高層湿原群（平ヶ岳～巻機山～朝日岳）	ミヤマミズゴケ、イボミズゴケなどで特徴づけられる高層湿原、エゾホソイ群落などの小池塘の植生およびイワイチョウ、ハクサンコザクラなどの生育する雪田草原が発達している。
149	八瀬川	群馬県	太田市	河川	淡水藻類	八瀬川	絶滅危惧 類のアツカワオオイシソウ（紅藻）が多数生育。
150	大峰沼湿原	群馬県	利根郡月夜野町	高層湿原	湿原植生	大峰沼湿原	ミツガシワなど。浮島が多い。
151	狭山丘陵の湿地	埼玉県、東京都	埼玉県所沢市、入間市、東京都東大和市、武蔵村山市、西多摩郡瑞穂町	湧水地	昆虫類	狭山丘陵	オオムラサキ、ウラナミアカシジミ、アカシジミ、ハスオビアツバ、ムカシヤンマ、ミカドガガンボなどの生息地。
152	見沼代用水	埼玉県	行田市	水路	淡水藻類	見沼代用水	絶滅危惧 類のアツカワオオイシソウ（紅藻）が多数生育。
153	宝蔵寺沼	埼玉県	羽生市	湖沼	湿原植生	宝蔵寺沼	ムジナモの生育地。
154	犬吠埼周辺沿岸	千葉県	銚子市	藻場	海草、海藻	犬吠埼周辺沿岸	エビアマモの生育地。コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落（寒流系海藻の分布の南限域）。
155	小野川	千葉県	佐原市	河川	淡水藻類	小野川	絶滅危惧 類および日本固有種のおオイシソウ、アツカワオオイシソウ（紅藻）が多数生育。
156	はきだし沼	千葉県	野田市	湖沼	昆虫類	はきだし沼	オオセスジイトンボ、コバンムシの生息地。
157	九十九里浜（栗山川～新川）	千葉県	匝瑳郡野栄町	砂浜	シギ・チドリ類	九十九里浜（栗山川～新川）	春秋の渡り期の個体数が比較的多い。ミユビシギでは最小推定個体数の1%以上が記録されている。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
158	ジュンサイ池	千葉県	市川市	湖沼	淡水藻類	ジュンサイ池	絶滅危惧 類のイノカシラフラスコモが生育。
					昆虫類	ジュンサイ池	千葉県でオオルリボシヤンマを初確認。その他平地性トンボ、特に珍しいヤンマ類(マルタンヤンマ、ヤブヤンマ、クロスジギンヤンマ)が多い。
159	東京湾の干潟・浅瀬(盤洲干潟、富津干潟、三番瀬、谷津干潟、小櫃川河口、葛西、東京港野鳥公園、中央海浜公園、森ヶ崎、多摩川河口、野島海岸など) ラムサール条約登録湿地(谷津干潟)	千葉県、東京都、神奈川県	千葉県君津市、船橋市、市川市、習志野市、木更津市、袖ヶ浦町、富津市、東京都江戸川区、大田区、神奈川県川崎市、横浜市	前浜干潟、河口干潟のある河口域、塩性湿地、浅海域、藻場	海草	小櫃川河口	コアマモの生育地。
					シギ・チドリ類	小櫃川河口(盤洲干潟)	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、シロチドリ、キアシシギ、ハマシギでは最小推定個体数の1%以上、メダイチドリ、チュウシャクシギ、キョウジョシギ、ミユビシギ、ハマシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のチシマシギ、セイタカシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、ツバメチドリが記録されている。
					昆虫類	小櫃川河口	キイロホソゴミムシの唯一の生息地。ヨシ、シオクグなどの塩性湿地。
					底生動物	小櫃川河口ならびに盤洲干潟	東京湾最大の干潟・河口部には広い塩性湿地を伴い自然地形の保存が極めて良好。フトヘナタリ、ソトオリガイ、ウモレベンケイガニ、ハマガニの生息地。盤洲干潟にはアサリ、シオフキガイ、イボキサゴが生息する。
					海草	富津地先沿岸	東京湾に唯一まとまって残ったアマモ場(アマモ・コアマモ)。
					シギ・チドリ類	富津干潟	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多い。ミユビシギでは最小推定個体数の1%以上が記録されている。RDB種のチシマシギ、アカアシシギ、ホウロクシギが記録されている。
					底生動物	富津干潟	東京湾で最も湾口部の砂質干潟。アサリ、シオフキガイの生息地。大規模なアマモ場をとまなう東京湾干潟の原形をとどめる。
					ガン・カモ類	東京湾(富津砂州、三番瀬、東京都分)	スズガモの渡来地。
					シギ・チドリ類	三番瀬	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ハマシギでは最小推定個体数の1%以上、ミヤコドリ、ダイゼン、メダイチドリ、キアシシギ、キョウジョシギ、ミユビシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギが記録されている。
					底生動物	三番瀬	東京湾奥部の最大の干潟、アサリなどの二枚貝類ならびにエドガワミズゴマツボの生息が豊富で東京湾の水の浄化機能も高い。
					シギ・チドリ類	谷津干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ハマシギでは最小推定個体数の1%以上、セイタカシギ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、オオソリハシギ、チュウシャクシギ、キアシシギ、キョウジョシギ、ミユビシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のセイタカシギ、ホウロクシギ、アカアシシギが記録されている。
					淡水魚類	東京湾奥部の河口域	トビハゼ生息地の北限(小櫃川、養老川、江戸川、多摩川などの河口)。小櫃川河口干潟にはエドハゼ、チクゼンハゼ、マサゴハゼも生息。
底生動物	江戸川放水路	人工放水路であるが砂質から泥干潟そして一部ヨシからなる塩性湿地があり、オキシジミガイなどの閉鎖的な干潟の生物が豊富、またトビハゼの北限にあたる。					

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
159	東京湾の干潟・浅瀬（盤洲干潟、富津干潟、三番瀬、谷津干潟、小櫃川河口、葛西、東京港野鳥公園、中央海浜公園、森ヶ崎、多摩川河口、野島海岸など） ラムサール条約登録湿地(谷津干潟)	千葉県、東京都、神奈川県	千葉県君津市、船橋市、市川市、習志野市、木更津市、袖ヶ浦町、富津市、東京都江戸川区、大田区、神奈川県川崎市、横浜市	前浜干潟、河口干潟のある河口域、塩性湿地、浅海域、藻場	昆虫類	江戸川下流域	ヒヌマイトンボの生息地。
					シギ・チドリ類	葛西海浜公園	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多い。メダイチドリ、キョウジョシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のセイタカシギ、ホウロクシギが記録されている。
					シギ・チドリ類	東京港野鳥公園・中央海浜公園・森ヶ崎	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多い。RDB種のセイタカシギ、アカアシシギが記録されている。
					シギ・チドリ類	多摩川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多い。RDB種のセイタカシギが記録されている。
					底生動物	野島海岸	東京湾内湾神奈川県側唯一の自然干潟であり、オサガニ、マテガイやその他の東京湾干潟動物の生息地。
160	北総地域の谷津田、水路、湧水	千葉県	印西市、佐倉市、千葉市	河川、水路	淡水魚類	北総地域の谷津田、水路、湧水	在来タナゴ類（激減）、スナヤツメ、メダカ、ホトケドジョウ、ギバチの生息地。
					淡水貝類	北総地域の谷津田、水路、湧水	イシガイ類の生息地。
161	成東湿原	千葉県	山武郡成東町、東金市	その他の湿地	湿原植生	成東湿原	食虫植物群落（国の天然記念物）。
162	房総半島中部の谷戸（谷津）群	千葉県	君津市、安房郡鋸南町・富山町	その他の湿地	昆虫類	房総半島中部の谷戸（谷津）群	ゲンゴロウモドキが残存。ヒガシカワトンボ、シロバナカワトンボの生息地（高宕山、鋸山、富山など）。
163	房総丘陵の谷津田、湧水地	千葉県	君津市、市原市、夷隅郡大多喜町、勝浦市など	河川	淡水魚類	房総丘陵の谷津田、湧水	ホトケドジョウ、スナヤツメ、ギバチなどの生息地。
					淡水貝類	房総丘陵の河川	イシガイ類の生息地。
164	一宮川ならびに夷隅川河口干潟	千葉県	長生郡長生村・一宮町、夷隅郡岬町	河口干潟のある河口域、潟湖干潟	湿原植生	一宮川河口の塩湿地	ヨシ・シオクグ群落、ヨシ・イソヤマテンツキ群落。
					シギ・チドリ類	一宮川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、ミユビシギでは最小推定個体数の1%以上が記録されている。RDB種のアカアシシギが記録されている。
					底生動物	一宮川ならびに夷隅川河口干潟	九十九里浜から外房にかけての唯一に近い干潟であり関東太平洋岸における干潟生物の着底場として重要。主要ベントスとしては、ヒガタスナホリムシ、イソシジミガイ、オオノガイ、ヤマトオサガニ、コメツキガニなど。
165	館山湾	千葉県	館山市	藻場	海草	館山湾	アマモ、ウミヒルモの生育地（北限）。
166	館山波佐間、坂田	千葉県	館山市	サンゴ礁	サンゴ	館山波佐間、坂田	種の多様性が高い。
167	鵜原地先沿岸・鯛ノ浦	千葉県	勝浦市、安房郡天津小湊町	藻場	海藻	鵜原地先沿岸・鯛ノ浦	(鵜原)有節サンゴモ群落が発達。(鯛ノ浦)ヒラクサ（群落発達、群落としては北限）、ヤハズグサ、ミヤヒバ、ビリヒバ、エゾシコロ、オオシコロ、フサカニノテ、ヘリトリカニノテの生育地。
168	多摩丘陵地帯の湧水湿地	東京都	青梅市、西多摩郡日の出町、あきる野市、八王子市	湧水湿地	爬虫両生類	多摩丘陵地帯の湧水地	トウキョウサンショウウオ（種として日本固有）の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
169	八丈島周辺沿岸	東京都	八丈町	藻場	海藻	八丈島周辺沿岸	八丈島のアントクメ。コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。
170	式根島足附港周辺	東京都	新島村	藻場	海藻	式根島足附港周辺	アントクメ、ヒジキ（伊豆七島では唯一の群落）、ヤツタタモク、アカモク、コブクロモク、マクサなど。海中林、ヒジキ群落、テングサ場。
171	父島・母島の河川	東京都	小笠原村	河川	淡水魚類	父島・母島の河川	オガサワラヨシノボリ、チチブモドキの生息地。
					淡水貝類	父島の小河川	オガサワラカワニナ（準絶滅危惧）の生息地。
172	小笠原諸島周辺の砂浜海岸および周辺浅海域	東京都	小笠原村	砂浜、浅海域、サンゴ礁、干潟	サンゴ	小笠原群島	エブロン礁。希少種を含み、自然度が高い。
					ウミガメ	小笠原諸島	小笠原諸島は南西諸島に並ぶアオウミガメの繁殖地である。その中でも最も多く産卵が行われるのが初寝の砂浜である。その砂浜に至る海域として重要である。南島はアーチ状の岩穴をくぐって砂浜に至る産卵場として世界でも唯一の場所である。アオウミガメの産卵生態、行動を考える上でも貴重と思われる。
					底生動物	小笠原諸島周辺の干潟群	オガサワラスガイなど固有種の生息地。
173	芦ノ湖	神奈川県	足柄下郡箱根町	湖沼	淡水藻類	芦ノ湖	絶滅危惧 類のヒメフラスコモ、カタシャジクモ、シャジクモ、キヌフラスコモが生育。
					淡水貝類	芦ノ湖	種の多様性が高く、ニホンミズシタダミ（絶滅危惧 類）の生息地。ニホンマメシジミ。
174	仙石原湿原	神奈川県	足柄下郡箱根町	低層湿原	湿原植生	仙石原湿原	国の天然記念物。オオミズゴケ、コイヌノハナヒゲ、イトイヌノヒゲ。
					昆虫類	仙石原	オオルリハムシ、ケスジドロムシの生息地。カタツムリトビケラの北限分布地。
175	三浦半島の湾・入江干潟および沿岸（小田和湾、諸磯湾、油壺湾、小網代湾、江奈湾、大浦海岸、城ヶ島、劔崎、三浦海岸、観音崎など）	神奈川県	三浦市、横須賀市	入江干潟、塩性湿地、藻場	海藻	観音崎周辺沿岸	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。
					海草、海藻	油壺湾・諸磯湾・三浦海岸・小網代湾・江奈湾・大浦海岸	(油壺湾・諸磯湾)アマモ、タチアマモ（南限）、ヒロハクロメ（ここと八幡浜市地大島にのみ生育）、カジメ、ノコギリモクの近縁種、海中林。(三浦海岸・小網代湾)タチアマモの生育地。(江奈湾・大浦海岸・三浦海岸)コアマモの生育地。
					海藻	毘沙門～劔崎沿岸	亜熱帯性海藻の北限域。種の多様性が高い。
					海草、海藻	小田和湾	アマモ、タチアマモ、コアマモ、アラメ、クロメ、カジメ、ノコギリモクの近縁種、アナアオサ、リボンアオサ、ウミヒルモ（北限の可能性）の生育地。
					底生動物	小網代湾	自然林間の河川、河口、入江の水系として連続した自然形状の保存が極めて良好でアカテガニやモクスガニなど両側回遊性の動物が豊富。
					底生動物	江奈湾	ヨシ群落の塩性湿地が発達する入江干潟。ホソウミニナ、ヤマトオサガニ、チゴガニなどの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
176	相模川河口（干潟）	神奈川県	平塚市	河口干潟のある河口域	底生動物	相模川河口干潟	相模湾奥部唯一の干潟で、相模湾での干潟動物の着底場として重要。
177	真鶴岬周辺沿岸	神奈川県	足柄下郡真鶴町	藻場	海藻	真鶴岬周辺沿岸	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。
178	苗場山周辺湿原（苗場山湿原、小松原湿原など）	新潟県、長野県	新潟県中魚沼郡津南町・中里村、南魚沼郡湯沢町、長野県下水内具都栄村	高層湿原、雪田草原	湿原植生	苗場山周辺湿原（苗場山湿原、小松原湿原など）	ヌマガヤ群落、イワイチョウ - ショウジョウスゲ群落、ヤチスゲ群落、ミヤマホタルイ群落など。
179	佐渡島北部沿岸	新潟県	両津市他	藻場	海藻	佐渡島北部沿岸	日本海に点在する島嶼では最大の藻場（7000ha）を有する。
180	佐渡島南部沿岸	新潟県	佐渡郡真野町他	藻場	海藻	佐渡島南部沿岸	エチゴネジモク（最も大きな群落、佐渡島、粟島、飛島だけに分布）。
181	地本湧水	新潟県	北蒲原郡中条町	湧水地	湿原植生	地本湧水	海岸約2km、標高8mのミズバショウ群生地、準絶滅危惧種ミクリ。なお、近くにも胎内川扇状地湧水が多く、イバラトミヨ、ホトケドジョウ（淡水魚類）や、シャープゲンゴロウモドキ（昆虫類）も生息。
182	信濃川および阿賀野川の最下流域	新潟県	新潟市	河川	淡水魚類	信濃川、阿賀野川および福島潟のウケクチウグイ生息地	ウケクチウグイの生息地。
					昆虫類	松浜の池	オオセスジイトトンボ、オオモノサントンボ、マダラヤンマ、タイリクアキアカネ、オナガアカネ、チョウトンボなどの生息地。
183	魚沼地方のシナイモツゴ生息地	新潟県	十日町市、小千谷市、中魚沼郡中里町・津南町、南魚沼郡六日町、東頸城郡松之山町	池沼、ため池	淡水魚類	魚沼地方のシナイモツゴ生息地	魚沼地方のシナイモツゴの生息する池沼、ため池群。
184	妙高高原周辺湿原（イモリ池湿原、高谷池湿原など）	新潟県	中頸城郡妙高高原町、妙高村	高層湿原、低層湿原	湿原植生	妙高高原周辺湿原（イモリ池湿原、高谷池湿原など）	ミカツキグサ - ミヤマイヌノハナヒゲ群落、リュウキンカ - ミズバショウ群落、イワイチョウ - ショウジョウスゲ群落など。
					昆虫類	妙高高原周辺湿原（沼湿原、イモリ池湿原、高谷池湿原など）	メススジゲンゴロウの生息地。
185	佐潟 ラムサール条約登録湿地	新潟県	新潟市	湖沼	湿原植生	佐潟	ヨシ群落、オニバス自生地北限付近。
					ガン・カモ類	佐潟	コハクチョウ、ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）、マガンの渡来地。
186	三和村ため池群	新潟県	中頸城郡三和村	ため池	水草	三和村ため池群	三和村島倉地区の谷内池はオニバス、ミズオオバコ等が多産し種の多様性が高いが、他にも良好な自然環境を残す池が多い。
187	朝日池・鶴の池	新潟県	中頸城郡大潟町	湖沼	ガン・カモ類	朝日池・鶴の池	ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）の渡来地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
188	鳥屋野潟	新潟県	新潟市	湖沼	ガン・カモ類	鳥屋野潟	コハクチョウ、ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガモの渡来地。
					淡水貝類	鳥屋野潟	ヒダリマキモノアラガイ、カワネジガイなどの生息地。
189	福島潟、瓢湖	新潟県	豊栄市、北蒲原郡水原町	湖沼	湿原植生	福島潟	ヨシ群落、マコモ群落、オニバス自生地北限。
					ガン・カモ類	福島潟、瓢湖	コハクチョウ、ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)の渡来地。
					淡水魚類	信濃川、阿賀野川および福島潟のウケクチウグイ生息地	ウケクチウグイの生息地。
190	柏崎沿岸(宮川～椎谷)	新潟県	柏崎市	藻場	海藻	柏崎沿岸(宮川～椎谷)	ウスイロモク、フシトモク、フシスジモク、カタツルモChorda rigida(希産種、最大の群落)、イシモズク。それぞれの純群落が砂地に点在する平坦な岩盤において砂面からの比高に応じて成立。
191	白馬岳周辺湿地群(朝日岳～唐松岳の雪田、白馬大池、八方池、長池などの高山湖沼、かもしか平、兵馬の平、天狗原湿原、梅池湿原、八方尾根湿原など)	新潟県、長野県、富山県	新潟県糸魚川市、長野県北安曇郡小谷村・白馬村、富山県上新川郡朝日町・宇奈月町	中間湿原、高層湿原、雪田草原、高山湖沼	湿原植生	白馬岳周辺湿地群(朝日岳～唐松岳の雪田、白馬大池、八方池、長池などの高山湖沼、かもしか平、兵馬の平、天狗原湿原、梅池湿原、八方尾根湿原など)	イワイチョウ・ショウジョウスゲ群落、ヌマガヤ群落、ミカツキグサ・ミヤマイヌノハナヒゲ群落など。
					昆虫類	白馬岳周辺湿地群(朝日岳、白馬大池、天狗原湿原、梅池自然公園、八方山湿原、とおみ湿原、ガクモ原など)	エゾイトトンボ、ルリボシヤンマ、オオルリボシヤンマ、カオジロトンボの生息地。
192	河口湖	山梨県	南都留郡河口湖町・勝山村・足和田村	湖沼	淡水藻類	河口湖	絶滅危惧 類のヒメフラスコモ、カタシャジクモ、シャジクモが生育。
193	山中湖	山梨県	南都留郡山中湖町	湖沼	淡水藻類	山中湖	絶滅危惧 類のヒメフラスコモ、カタシャジクモ、シャジクモが生育。
194	忍野村湧水群	山梨県	南都留郡忍野村	湧水地	水草	忍野村湧水地群	富士山麓の湧水地の植生。忍野八海自体は観光地化が進み変化が著しく、周辺の水路も含め要注目。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
195	木崎湖周辺湖沼・湿地群（落倉湿原、居谷里湿原、唐花見湿原、姫川源流（親海湿原）、木崎湖、中綱湖、青木湖、農具川など）	長野県	大田市、北安曇郡白馬村・八坂村	低層湿原、湖沼、湧水	湿原植生	木崎湖周辺湖沼・湿地群（居谷里湿原、唐花見湿原、姫川源流（親海湿原）、中綱湖など）	ハナノキ、アサザ、フクジュソウ、ザゼンソウ、ミズバショウ、バイカモなど。
					爬虫両生類	落倉湿原およびその周辺	ハクバサンショウウオ（日本固有種）の生息地。
					昆虫類	居谷里湿原	ネクイハムシ、オゼイトトンボ、サラサヤンマ、ハッチョウトンボ、モイワサナエ、ヒメクロサナエの生息地。
					昆虫類	木崎湖周辺湖沼・湿地群（落倉湿原、居谷里湿原、唐花見湿原、姫川源流（親海湿原）、木崎湖、中綱湖、青木湖、農具川など）	エゾイトトンボ、オゼイトトンボ、サラサヤンマ、アオヤンマ、ルリボシヤンマ、オオルリボシヤンマ、カラカネトンボ、ハッチョウトンボ、ヒメアカネ、キトンボの生息地。
					淡水貝類	仁科三湖（青木湖、中綱湖、木崎湖、農具川）	キザキコミズシタダミ、ヒダリマキモノアラガイ（絶滅危惧 類）、カワシンジュガイ（絶滅危惧 類）の生息地。
					淡水貝類	居谷里湿原	カワシンジュガイ（絶滅危惧 類）の生息地。
196	霧ヶ峰湿原群（八島ヶ原湿原、踊場湿原、車山湿原など）	長野県	諏訪市、諏訪郡下諏訪町	高層湿原	湿原植生	霧ヶ峰湿原群（八島ヶ原湿原、踊場湿原、車山湿原など）	ヌマガヤ - チャミズゴケ群落、ヌマガヤ - イボミズゴケ群落など。ホロムイソゲ、ミカツキグサなど。
					昆虫類	霧ヶ峰湿原群（八島ヶ原湿原、池のくろみ湿原、車山湿原、霧ヶ峰湿原、科ノ木湿原など）	尾瀬ヶ原と並ぶ高層湿原。高山性のルリイトトンボ、カラカネトンボの生息地。
197	志賀高原周辺湿原群（四十八池湿原、田ノ原湿原、高天ヶ原・一ノ瀬湿原、焼額山湿原、北ドブ湿原、一沼など）	長野県	下高井郡山ノ内町・木島平村	高層湿原	湿原植生	志賀高原周辺湿原群（四十八池湿原、田ノ原湿原、高天ヶ原・一ノ瀬湿原、焼額山湿原、北ドブ湿原、一沼など）	ミカツキグサ - ミヤマイヌノハナヒゲ群落、ヌマガヤ群落、ヒルムシロ群落、ミズゴケ群落など。
					昆虫類	志賀高原周辺湿原群	キイロマツモムシの南限生息地。エゾイトトンボ、ルリイトトンボ、ヒメクロサナエ、クロサナエ、モイワサナエ、ルリボシヤンマ、オオルリボシヤンマ、カラカネトンボ、カオジロトンボなどの生息地。
198	乗鞍岳湿原	長野県	南安曇郡安曇村	高層湿原	昆虫類	乗鞍高原	高山性トンボの宝庫。エゾイトトンボ、ルリイトトンボ、ルリボシヤンマ、オオルリボシヤンマ、カラカネトンボ、エゾトンボ、ホソミモリトンボ、ムツアカネ、カオジロトンボの生息地。高山性トンボ全14種のうちの10種（71%）を占める。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
199	安曇野 ^{タデガワ} 蓼川周辺湧水河川	長野県	南安曇郡穂高町	河川	水草	安曇野蓼川周辺湧水河川	バイカモ、ミクリ類、陸上植物の沈水形が群生し、湧水性植生の典型。
200	黒姫山湖沼・湿原群（黒姫山大池、種池、古池、御鹿池、古池湿原、大だるみ湿原、御鹿池湿原、赤谷地湿原など）	長野県	上水内郡信濃町	低層湿原、中間湿原、湖沼	湿原植生	黒姫山湖沼・湿原群（黒姫山大池、種池、古池、御鹿池、古池湿原、大だるみ湿原、御鹿池湿原、赤谷地湿原など）	ヨシ・ミズバショウ群落ほか。種池は人工構造物のない天然池。水草が豊富。アサザ、ジュンサイ、ヒツジグサ、ハイハマボッサなど。
201	逆サ川	長野県	上水内郡戸隠村	河川	淡水貝類	逆サ川	カワシンジュガイ（絶滅危惧類）の多産地。この個体群はヤマメからイワナへ寄主転換しているという特異性がある。
202	茶臼山周辺ため池群	長野県	長野市	水田、ため池	淡水魚類	茶臼山周辺ため池群	シナイモツゴの大規模生息地。
203	立山周辺湿原群（弥陀ヶ原湿原、五色ヶ原、大日平湿原など）	富山県	上新川郡大山町、中新川郡立山町	高層湿原、中間湿原、雪田草原	湿原植生	立山周辺湿原群（弥陀ヶ原湿原、五色ヶ原、大日平湿原など）	ヤチカワズゲ - キダチミズゴケ群落、ダケスゲ群落、ミヤマホタルイ群落、ヌマガヤ群落など。
204	富山湾	富山県	下新川郡入善町、黒部市、魚津市、滑川市、富山市、新湊市、高岡市、氷見市	藻場	海藻	富山湾東部	海中洞門などの景観、希少種分布。ガラモ場。
					海藻	富山湾西部	県最大。種数も県内最多。ウスイロモクの生育地。
205	氷見市周辺の河川・ため池群	富山県	氷見市	ため池、河川、湖沼	湿原植生	宮田地区ため池群	ウキヤガラ - マコモ群落など。
					淡水魚類	十二町瀧周辺の河川と湖沼	在来タナゴ類（イタセンバラ、アカヒレタビラ、ヤリタナゴ）、シンジコハゼの生息地。
					昆虫類	宮田地区ため池群	ネアカヨシヤンマ、マダラヤンマ、マルタンヤンマ、チョウトンボ、オナガアカネ、タイリクアキアカネ、ハッチョウトンボの生息地。
206	能登半島の低地湿原	富山県、石川県	富山県富山市ほか1市2郡、石川県羽咋市ほか2市3郡	その他の湿地	爬虫両生類	能登半島丘陵地のホクリクサンショウウオ生息地	ホクリクサンショウウオ（日本固有種）の生息地。
					昆虫類	能登半島の低地湿原	シャープゲンゴロウモドキ、ナガケシゲンゴロウの生息地。
207	七尾湾	石川県	七尾市、鹿島郡中島町・能登島町・田鶴浜町、鳳至郡穴水町	藻場	海草、海藻	七尾湾	日本海内湾の大規模アマモ場。スゲアマモの分布最南端（アマモ・スゲアマモ）。ウミヒルモ、イトヨレモク（北限、他の地域では瀬戸内海の数カ所に分布）、ウスイロモク（南限）、スギモク、カタツルモ（南限）、ホソエガサ。希少種が多い。
					底生動物	七尾湾	ウミニナ、ホソウミニナ、イボウミニナの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
208	能登半島西海岸および湖沼群 (邑知潟、高松～河北海岸、河北潟)	石川県	河北郡宇ノ気町・津幡町・内灘町・七塚町、金沢市、羽咋市、羽咋郡押水町	水田、休耕田、ハス田、潟湖、砂浜、その他の湿地	シギ・チドリ類	河北潟	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、チュウシャクシギ、ツルシギでは最小推定個体数の1%以上が記録されている。RDB種のアカアシシギ、ツバメチドリ、オオジシギが記録されている。
					シギ・チドリ類	高松海岸	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、キアシシギ、ミユビシギでは最小推定個体数の1%以上、キアシシギ、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のカラフトアオアシシギ、ホウロクシギが記録されている。
					ガン・カモ類	能登半島西岸湖沼群 (邑知潟、河北潟)	コハクチョウ、マガモ、ヒドリガモ、トモエガモ、コガモ、マガンの渡来地。
209	白山の湿原・雪田草原	石川県、岐阜県	石川県石川郡白峰村・尾口村・吉野谷村、岐阜県大野郡白川村	雪田草原	湿原植生	白山の湿原・雪田草原	当地を模式産地とする植物が多い。ハクサンコザクラなどの高山性の植物には、白山を日本における分布の西限とする種が多い。クロユリの群落は大規模で特筆される。
210	片野鴨池 ラムサール条約登録湿地	石川県	加賀市	休耕田、放棄水田、水田	ガン・カモ類	片野鴨池	マガン、トモエガモの渡来地。
					昆虫類	片野鴨池	フチムラサキメイガ、チュウブホソガムシ、マルケシゲンゴロウ、アオヤンマ、トラフトンボなど湿地や池に由来する種が多く、平地で少なくなった種がまだ残存している。
211	内浦町地先沿岸	石川県	珠洲郡内浦町	藻場	海藻	内浦町地先沿岸	ガラモ場。種類・希少種県内最多。
212	触倉島・七ツ島周辺沿岸	石川県	輪島市	藻場	海藻	触倉島・七ツ島周辺沿岸	ガラモ場。調査例少ないが、暖海性希少分布種が多いと予想される。
213	能登半島西部沿岸	石川県	輪島市、羽咋郡	藻場	海藻	能登半島西部沿岸	ガラモ場。ウップルイノリ、クロノリ。人工的に造成された「ノリの畑」が多い、海の里山的存在。アマノリ群落。
214	ガンの池	石川県	珠洲市	湖沼	ガン・カモ類	ガンの池	コハクチョウ、ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガン、マガモの渡来地。
215	大野市の湧水	福井県	大野市	湧水地	淡水魚類	大野市の湧水	陸封性イトヨの生息地(本願清水(ホンガンショウズ))。
216	武生市の湧水	福井県	武生市	湧水地	淡水魚類	武生市の湧水	トミヨ生息地の南限。
217	武生市周辺のアベサンショウウオ生息地	福井県	武生市	湧水地等	爬虫両生類	武生市周辺のアベサンショウウオ生息地	アベサンショウウオ(日本固有種)の生息地。
218	北潟湖	福井県	坂井郡金津町・芦原町	汽水湖沼	ガン・カモ類	北潟湖	マガン、ヒドリガモ、マガモの渡来地。
219	九頭竜川下流域および流域湖沼 (九頭竜川、大堤)	福井県	坂井郡三国町・芦原町・坂井町	河川、湖沼	ガン・カモ類	九頭竜川	ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガンの渡来地。
					ガン・カモ類	大堤	マガモ、トモエガモ、コガモの渡来地。トモエガモが多い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
220	中池見	福井県	敦賀市	水田、休耕田、放棄水田	水草	中池見湿地	水田耕作と結びついた多くの希少水生植物（ミズアオイ、デンジソウ、ミズワラビ、イトトリゲモ等）が生育。5万の植生変遷を記録した60mの泥炭堆積物を確認。開発計画は当面中断の状況にある。植生の変化が進みつつあり、要注目。
					昆虫類	中池見湿地	ハッチョウトンボ、サラサヤンマ、ネアカヨシヤンマ、ナカイケミヒメテントウ、ヤノトラカミキリ等の生息地。
221	池ノ河内湿原	福井県	敦賀市	低層湿原	湿原植生	池ノ河内湿原	ハンノキ林。マアザミ、ヒメザゼンソウ、ヤナギトラノオなど。
					昆虫類	池ノ河内	ミドリシジミ、ムナグロチャイロテントウ、アラキシロホシテントウなどの生息地。
222	三方五湖	福井県	三方郡三方町・美浜町	汽水湖沼、湖沼	淡水魚類	三方五湖	ハス、タモロコ、ナガブナの生息地。
223	養老地域の湧水群	岐阜県	養老郡養老町、海津郡南濃町、大垣市	湧水地	淡水魚類	養老地域の湧水群	ハリヨ、スナヤツメ、ホトケドジョウの生息地。
					淡水貝類	養老地域の湧水群	種の多様性が高い。イシガイ類、マメシジミ類の生息地。
224	アモウ 天生湿原	岐阜県	吉城郡河合村	高層湿原	湿原植生	天生湿原	高層湿原の存在位置、北方寒冷地植物の遺存地として貴重。ミヤマタムラソウ、カワズスゲ、ヒダキセルアザミ、エゾノヨツバムグラ（南限）、ニッコウキスゲ（西限）、ミタケスゲ（南限）、エゾリンドウ（南限）。
225	沖ノ洞・上ノ洞	岐阜県	恵那市	その他の湿地	昆虫類	沖ノ洞・上ノ洞	ハッチョウトンボ、ギフチョウ、ゲンバイトンボの生息がみられる。
226	大湫	岐阜県	瑞浪市	その他の湿地	昆虫類	大湫	ハッチョウトンボ、ギフチョウ、ゲンバイトンボの生息がみられる。
227	津保川流域の農業用水系	岐阜県	関市	水路	淡水貝類	津保川流域の農業用水系	種の多様性が高い。イシガイ類、カワニナ類、基眼類。
228	前沢湿地・須衛湿地	岐阜県	可児郡御嵩町、各務原市	その他の湿地	昆虫類	前沢湿地・須衛湿地	ゲンジボタル、ヒメタイコウチ、ヒメヒカゲ、ハッチョウトンボなどの生息地。
229	木曾三川合流の河川・水路・ため池群	岐阜県、愛知県	岐阜県海津郡南濃町・海津町、養老郡養老町、大垣市、本巣郡巣南町、羽島市、岐阜市、羽島郡川島町、愛知県津島市、葉栗郡木曾川町など	河川、池沼、ため池、水路	水草	木曾三川地域の水路・ため池群	長良川と揖斐川にはさまれた水郷地帯。オニバス、サンショウモ、トチカガミなど急減している水生植物が生育。
					淡水魚類	木曾三川合流の河川・水路・ため池群	イタセンバラ、デメモロコの生息地。
230	長良川・木曾川水系のサツキマス、ネコギギ生息地	岐阜県		河川	淡水魚類	長良川・木曾川水系のサツキマス、ネコギギ生息地	サツキマスの自然個体群（長良川水系）、ネコギギ（長良川、木曾川水系中流域：美濃加茂市、七宗町など）の生息地。
231	初島周辺沿岸	静岡県	熱海市	藻場	海藻	初島周辺沿岸	オバクサ、オオブサ、マクサ、オニクサ。テングサ群落が発達。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
232	伊豆半島南東部（白浜～田牛）沿岸	静岡県	下田市	藻場	海藻	伊豆半島南東部（白浜～田牛）沿岸	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。カジメ、ヨレモクの近縁種（未記載）、マメタワラ、アラメ、カジメなど。磯焼けが周辺地域で発生しても影響を受けていない。海中林（注）この藻場はアオウミガメの採食海域である可能性が高いと思われ、要注目。
233	逢瀬が浜	静岡県	賀茂郡南伊豆町	藻場	海藻	逢瀬が浜	ヨレモクの近縁種（未記載）、マメタワラ、アラメ、カジメなど。磯焼けが周辺地域で発生しても影響を受けていない。海中林。
234	伊豆ヒリド、トナイ、中木港付近	静岡県	賀茂郡南伊豆町	サンゴ礁	サンゴ	伊豆ヒリド、トナイ、中木港付近	種の多様性が高い。
235	伊豆半島西部沿岸	静岡県	賀茂郡松崎町・西伊豆町	藻場	海藻	伊豆半島西部沿岸	ガラモ、アントクメなどと混在し、地先の生物多様性が高い、テングサ生育地（注）この藻場はアオウミガメの採食海域である可能性が高いと思われ、要注目。
236	柿田川	静岡県	駿東郡清水町	湧水、河川	水草	柿田川	富士山麓の湧水によって成り立つ植生。ヒンジモとミシマバイカモは特に重要。
					淡水魚類	柿田川	アユカケ、ウツセミカジカ（カジカ小卵型）、ホトケドジョウの生息地。
237	アサハタ麻機湿地	静岡県	静岡市	遊水地	水草	麻機湿地	遊水地であるが全国最大のミズアオイ自生地。、タコノアシ、オオアブノメはじめ絶滅危惧種多い。
238	大井川中流域	静岡県	榛原郡中川根町・川根町	その他の湿地	昆虫類	大井川中流域	ミヤマシジミ、ツマグロキチョウ、コムラサキ、カワラバッタなどの生息地。
239	御前崎周辺沿岸	静岡県	榛原郡御前崎町	藻場	海藻	御前崎周辺沿岸	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。
240	遠州灘海岸	静岡県、愛知県	静岡県榛原郡御前崎町、小笠郡浜岡町・大東町・大須賀町、磐田郡浅羽町・福田町・竜洋町、磐田市、浜松市、浜名郡舞阪町・新居町、湖西市、愛知県豊橋市、渥美郡田原町・赤羽根町・渥美町	砂浜、浅海域	ウミガメ	遠州灘海岸の沖	アカウミガメの主要な産卵地である。
241	桶ヶ谷沼・鶴ヶ池	静岡県	磐田市	中間湿原、低層湿原、湖沼、沼沢地	湿原植生	桶ヶ谷沼・鶴ヶ池	ヨシが主体の沼沢地植物群落。ヨシ群落、マコモ群落、アゼスゲ群落など。タヌキモ、オニバス等、県下ではほとんど見られなくなった貴重な水生植物が多く生育する。
					昆虫類	桶ヶ谷沼・鶴ヶ池	コバネアオイトトンボ、ベッコウトンボ（絶滅危惧類）。ベッコウトンボの本州で唯一の多産地。コバンムシ、エサキアメンボ、ホッケミズムシ（いずれも準絶滅危惧種）の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
242	浜名湖	静岡県	浜名郡舞阪町・雄踏町・新居町、浜松市、引佐郡細江町・三ヶ日町、湖西市	潟湖干潟のある汽水湖沼、藻場	海草	浜名湖	本州太平洋岸中部の潟性湖アマモ場の典型。広大な汽水域に成立した藻場（アマモ）。
					底生動物	浜名湖	豊かなベントス相、アサリの好生息地、イボキサゴの量産地であるほか、キンランカノコ、サザナミツボ、ユウシキガイなど希少種を産する。
243	イモウ 葦毛湿原・湖西地方の湿地	静岡県、愛知県	静岡県湖西市、愛知県豊橋市	湧水湿地	湿原植生	湖西地方の湿地	モウセンゴケ科、タヌキモ科の食虫植物やクロミノシゴリなど湿生植物が多様。
					湿原植生	葦毛湿原	多様な植物群落によって構成され、その中に固有種も多く見られる。
					昆虫類	葦毛湿原・湖西地方の湿地	ムカシヤンマ、ハッチョウトンボ、ギフチョウ、ヒメタイコウチ、ヒメヒカゲ、ウラナミジャノメ、ミカワオサムシの生息地。
244	伊良湖岬周辺沿岸	愛知県	渥美郡渥美町	藻場	海藻	伊良湖岬周辺沿岸	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。
245	濃尾平野外縁部のウシモツゴ生息地	愛知県、岐阜県	愛知県豊田市、小牧市、西尾市、日進市、愛知県長久手町、犬山市、岐阜県関市、美濃市	氾濫原、ため池	淡水魚類	濃尾平野外縁部のウシモツゴ生息地	ウシモツゴの生息地。